

三重県出身者の県外進学と地元就職の動向

- 平成 22 年国勢調査（オーダーメイド集計）による分析-

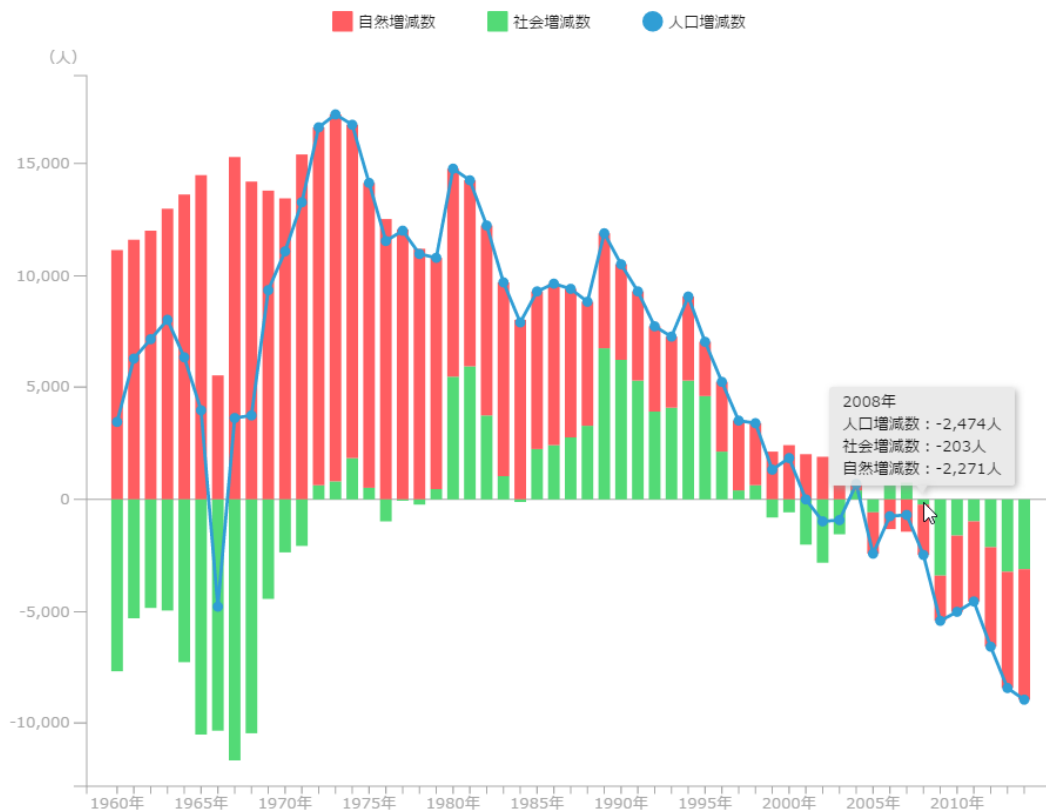
本稿では RESAS の人口マップに基づき、三重県における転出入の状況を若年層に着目して分析する。さらには、平成 22 年国勢調査のオーダーメイド集計によって得られた 1 歳単位の在学状況別データによって三重県と 5 都府県・5 市との間での県外進学、U ターン就職の状況を詳細に分析する。分析の結果、U ターンの傾向は進学先の地域と性別によって、大きく異なることが示唆された。

1. RESAS に基づく転出入の分析

図表 1 では RESAS の [人口マップ | 人口増減] から、三重県における自然増減・社会増減の状況を表している。図表 1 によれば、三重県では 2008 年以降、転出が転入を上回る転出超過となっている。三重県内の死亡数が出生数を上回る自然減に加えて、転出超過による社会減によって、三重県の人口減少が進展している。三重県において、転出超過となっている状況を改善することが、人口減少に歯止めを掛けることにつながる。

図表 1 三重県における自然増減・社会増減の推移

自然増減・社会増減の推移(折れ線)

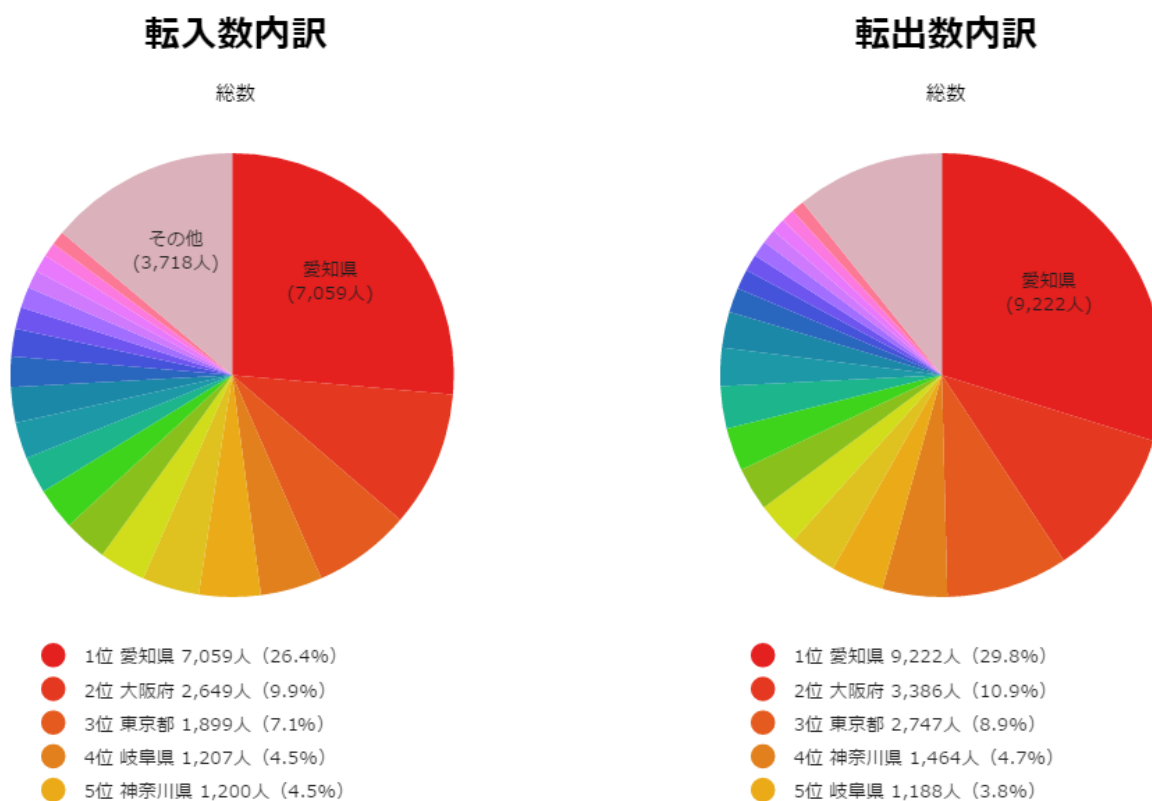


出典：RESAS [人口マップ | 人口増減]

図表 2 では RESAS の [人口マップ | 人口の社会増減] の From-to 分析を用いて、2015 年における三重県の転出入の都道府県別内訳を表している。2015 年のデータでは三重県の転入先の 1 位・転出先の 1 位がともに愛知県となっており、愛知県との間で転出入が多い。ただし、2015 年においては愛知県から三重県への転入が 7,059 人であるのに対して、三重県から愛知県への転出が 9,222 人となっており、三重県から愛知県へ 2,163 人の転入超過となっている。図表 2 から、愛知県との間で最も人口の転出入が多いこととともに、1 年間で 2,000 人以上の転出超過となっていることが分かる。

図表 2 三重県に関する転入元、転出先内訳 (2015 年)

三重県 From-to分析 (定住人口) 2015年



出典：RESAS [人口マップ | 人口の社会増減]

2. RESAS に基づく越県進学の実態

一般に、都道府県をまたぐ転出入は大学・短期大学への進学時期や就職時期が占める割合が高い。図表 3 では、RESAS の [人口マップ | 新卒者就職・進学] によって、2014 年において三重県内の高等学校の卒業後、いずれの都道府県に所在する大学・短期大学に進学したかを示している。図表 3 の右側にある流出進学者によれば、三重県内の高等学校の卒業生の進学先の第 1 位は、愛知県の大学・短期大学への 3500 人となっており、三重県内の大学・

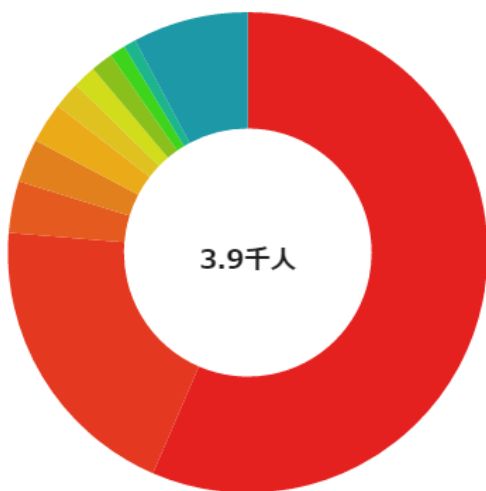
短期大学への 2200 人よりも多くなっている。図表 3 の [人口マップ | 新卒者就職・進学] は学校基本調査による高等学校への調査に基づいているため、越県通学する者も含まれているが、進学に伴う三重県からの人口流出が社会減少の一因となっていることが考えられる。

図表 3 三重県の進学に関する流出入先内訳 (2014 年)

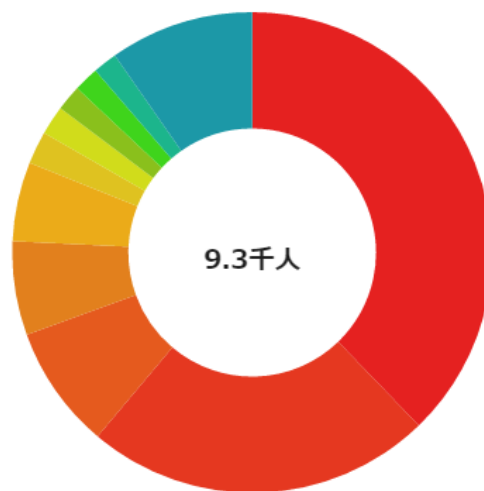
都道府県間の流出入状況 (同地域間を含む)

三重県 2014年
すべての進学
総数

流入進学者
(同地域間を含む)



流出進学者
(同地域間を含む)



- 1位 三重県 2.2千人 (56.47%)
- 2位 愛知県 0.8千人 (19.84%)
- 3位 岐阜県 0.1千人 (3.48%)
- 4位 海外等 0.1千人 (2.93%)
- 5位 静岡県 0.1千人 (2.72%)

- 1位 愛知県 3.5千人 (37.78%)
- 2位 三重県 2.2千人 (23.37%)
- 3位 大阪府 0.8千人 (8.30%)
- 4位 京都府 0.6千人 (6.31%)
- 5位 東京都 0.5千人 (5.33%)

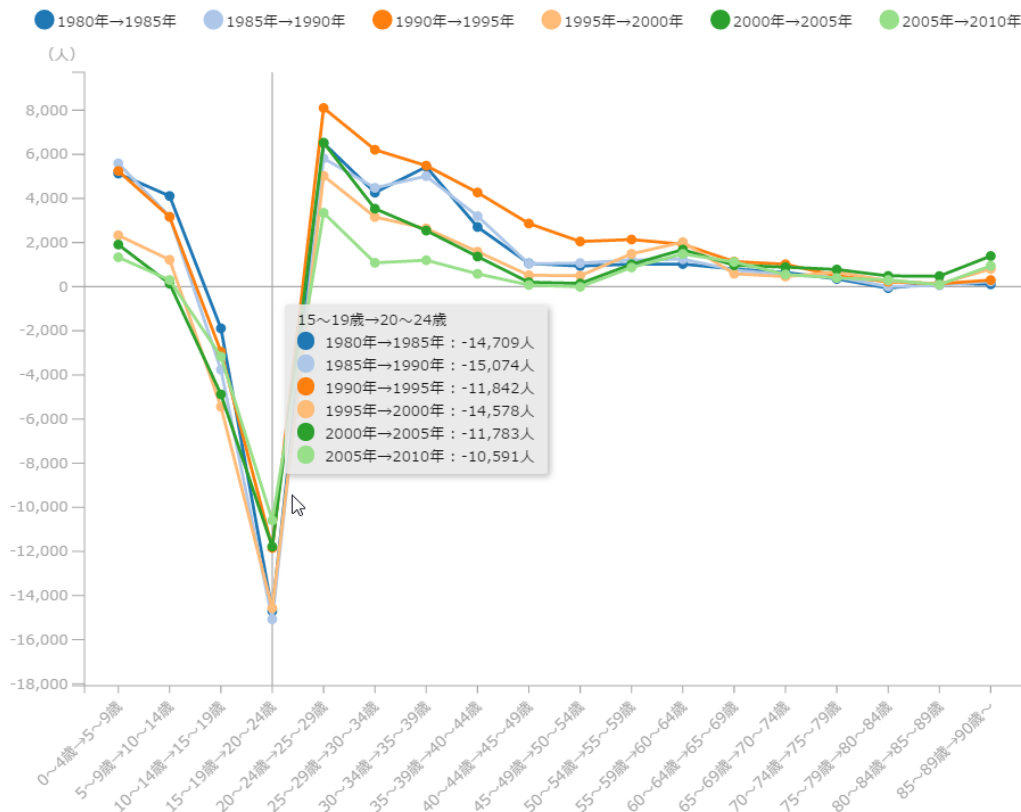
出典：RESAS [人口マップ | 新卒者就職・進学]

さらに図表 4 では RESAS の [人口マップ | 人口の社会増減] の人口移動 (グラフ分析) から、三重県における転出入を年齢階級別に表している。¹ 図表 4 は、三重県からは「15～19 歳→20～24 歳」における転出が大きい、「20～24 歳→25～29 歳」においては転入の方が多いいことを示している。2005 年→2010 年のデータでは「20～24 歳→25～29 歳」は、10,591

¹ RESAS の人口マップは、住民基本台帳または国勢調査に基づいた表示となっている。図表 1 および図表 2 は住民基本台帳のデータに基づいた値、図表 4 図表 4 は国勢調査データに基づいた値となっている。住民基本台帳は住民票の登録に基づいている一方で、国勢調査は「当該住居に3か月以上にわたって住んでいる」という居住実態に基づいた調査となっている。大学生は下宿する場合でも、住民票を実家から移さないケースがたびたびあるため、特に若年層に関する転出入の分析には、国勢調査データの方が実態を反映していると考えられる。

人が純減しているが、「20～24 歳→25～29 歳」では 3,349 人が純増している。この背景として、大学進学等で三重県外に転出した者の一部が、卒業後に U ターン就職として三重県内に戻ってきていることが考えられる。三重県外の高等教育機関への進学を含め、若年層の転出入の実態を詳細に把握することが、三重県における社会増減の課題解決につながると考えられる。

図表 4 三重県に関する年齢階級別純移動数
三重県 年齢階級別純移動数の時系列分析



出典：RESAS [人口マップ | 人口の社会増減]

3. 平成 22 年国勢調査（オーダーメイド集計）に基づく転出入の詳細分析

RESAS の人口マップよりも詳細な分析を行うため、² 総務省統計局・(独) 統計センターにおけるオーダーメイド集計制度を活用する。オーダーメイド集計制度に申請し、三重県から進学に伴う転出入の多いと考えられる 5 都府県、5 市に関する平成 22 年国勢調査の非公開データを入手した。入手したオーダーメイド集計データにおいては、男女別に 1 歳単位で在学状況の有無別の転出入の状況に加えて、三重県との間での転出入の内訳を把握できる形

² オーダーメイド集計は、(独) 統計センターが、一般からの委託に応じ行政機関等が行った統計調査の調査票情報を利用して、統計の作成又は統計的研究を行うことを指している。希望する集計表の仕様を示して申請することで、有償でデータを入手することができる。(http://www.nstac.go.jp/services/order.html)

式となっている。³ なお、オーダーメイド集計の対象地域としては、愛知県・東京都・大阪府・京都府・滋賀県の5都府県および大阪府吹田市、大阪府東大阪市、京都府京都市、京都府京田辺市、滋賀県草津市である。

図表5では愛知県の男性に関して、転入状況を1歳単位で示している。図表5の上段の図では、在学有無別に継続居住者・過去5年の転入者を1歳単位で表している。⁴ 図表5の中段の図では、在学状況別の転入者を三重県からの転入とそれ以外の地域からの転入で分けて示している。⁵ 図表5の下段の表では、上段と中段の図の数値データを示している。

なお、国勢調査では10月1日を調査時点として年齢を調査している。このため、四年制大学に進学し、留年や浪人がなく4年間で卒業し就職したと考える場合は、19歳で大学1年生と大学2年生が半数ずつ、23歳で四年制大学卒の新卒1年目と新卒2年目が半数ずつとなる。さらには修士課程卒業を含めて進学に伴う転出入を考える場合は、25歳が修士課程卒における新卒1年目と2年目が半々ずつの年齢となる。以上の年齢に関する考え方に基づいて本稿においては、19歳の三重県からの転入者と23歳および25歳の三重県への転出者に着目する。

図表5より、2010年10月に愛知県に住んでいた19歳の男性38,780人のうち5,190人が愛知県へ転入して在学していることが分かる。この5,190人のうち、5年前に三重県に住んでいた者は610人であり、19歳男性の転入在学者の11.8%、愛知県在住の19歳男性の在学者全体の2.6%を占めている。また、図表5より愛知県の19歳男性において、三重県から転入し非在学者230人を加えれば、計840人が三重県から愛知県に転入者となる。

また、図表6では愛知県の男性に関する転出状況を表しており、ページ内の図表の構成は図表5と同じ形式となっている。23歳男性における三重県への転出者を見ると、転出し在学した者が70人、転出した非在学者が230人であり、合計300人となっている。⁶ この300人は図表5に示した三重県からの19歳男性の転入在学者610人の49%、19歳男性の転入者全体840人の36%となっている。三重県から愛知県に進学した者の過半は三重県で就職していないことが推察される。また、着目する年齢を25歳とした場合でも、愛知県から三重県への男性転出者は220人であり、19歳男性の転入者全体840人の26%に相当する。平成22年国勢調査の1時点データで、異なる世代を比較しているため留意が必要だが、三重県から愛知県に進学した男性の過半は、23歳時点・25歳時点で三重県に戻ってきていないことが推察される。

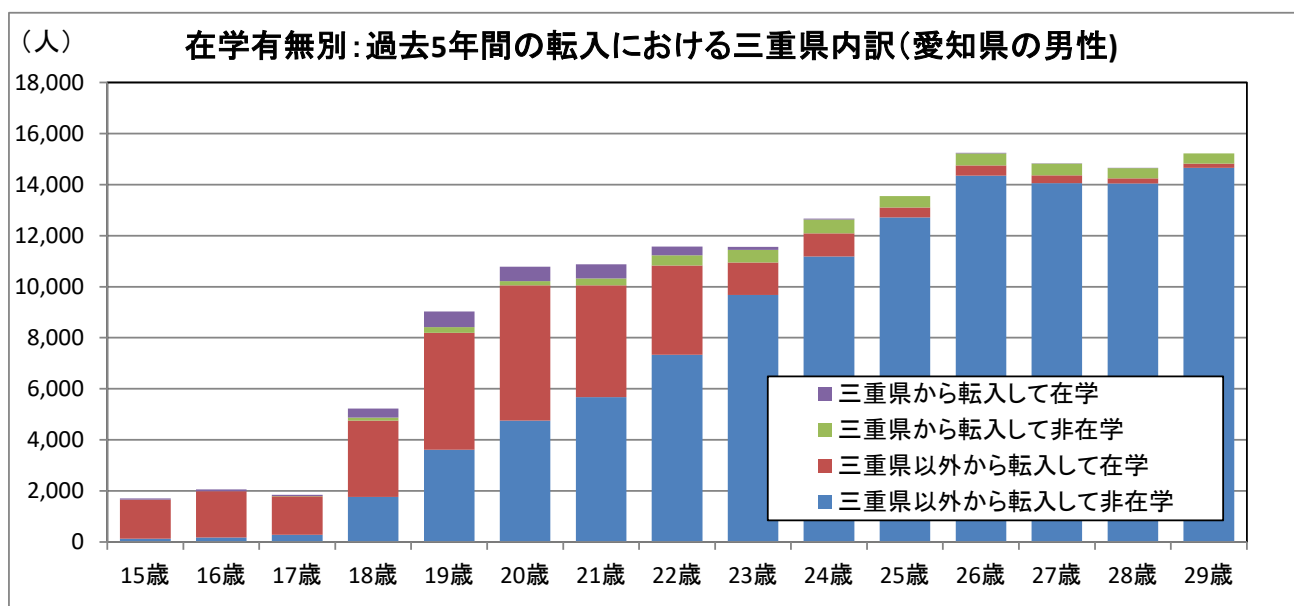
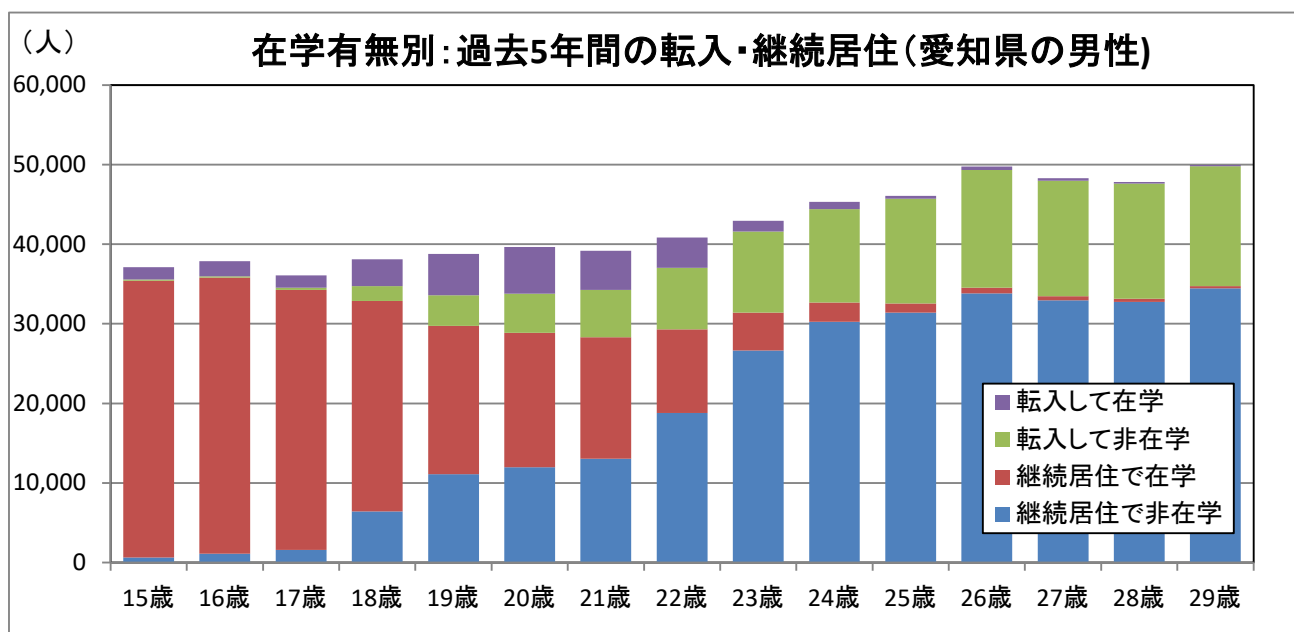
³ 国勢調査のオーダーメイド集計は、抽出詳細集計用データを用いた10人単位の四捨五入値での提供となっているため、e-Statなどの公開データと厳密には一致しない。<https://www.nstac.go.jp/services/2ji/kokucho-shiyou.pdf>

⁴ 継続居住には、5年前からの転入状況が不詳となっている者も含まれている。

⁵ 三重県以外からの転入は愛知県内の他の住居からの転入も含んでいる。

⁶ この人数は必ずしも三重県出身者が三重県に戻ったとは限らず、他県出身者が三重県に転入したケースが含まれることには留意が必要である。

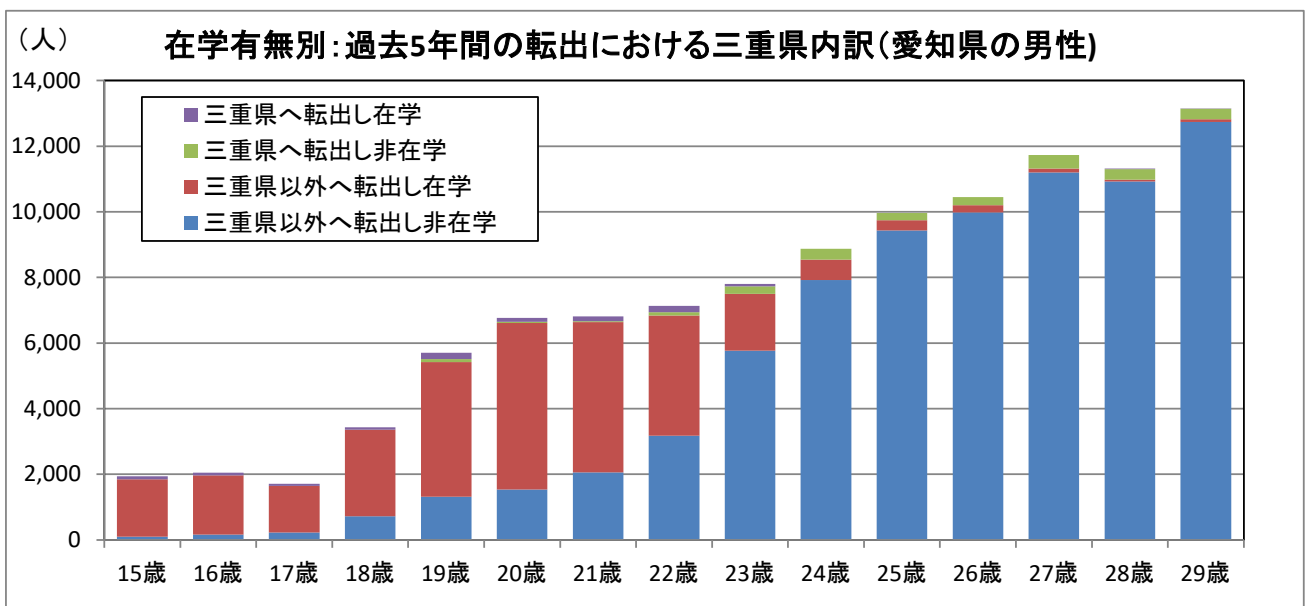
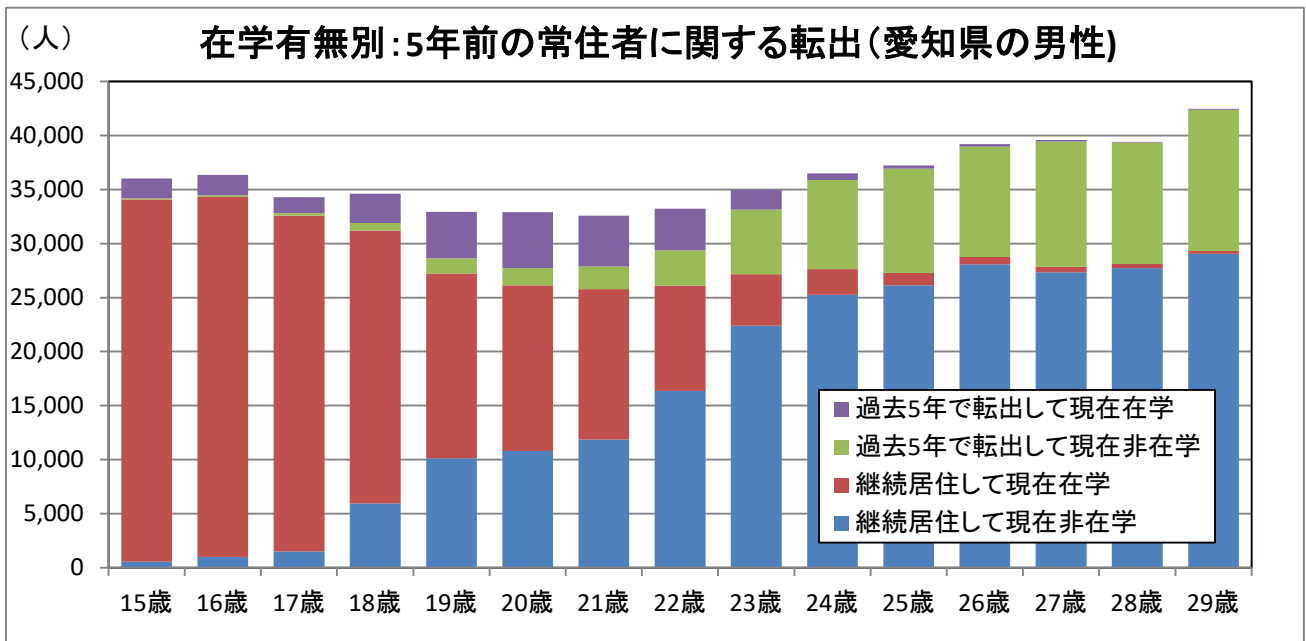
図表5 在学有無別の転入状況（愛知県の男性）



在学有無別：過去5年間の転入・継続居住（愛知県の男性）																
過去5年間の転入・継続居住数	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	
転入して在学	1,570	1,890	1,550	3,340	5,190	5,870	4,930	3,840	1,380	940	380	430	320	210	160	
転入して非在学	130	170	290	1,880	3,840	4,920	5,950	7,730	10,180	11,730	13,170	14,820	14,520	14,450	15,060	
継続居住で在学	34,810	34,690	32,700	26,440	18,640	16,910	15,240	10,510	4,770	2,420	1,140	680	510	410	280	
継続居住で非在学	610	1,120	1,560	6,430	11,110	11,960	13,060	18,780	26,630	30,250	31,400	33,840	32,960	32,750	34,460	
調査時点の常住者合計	37,120	37,870	36,100	38,090	38,780	39,660	39,180	40,860	42,960	45,340	46,090	49,770	48,310	47,820	49,960	
在学有無別：過去5年間の転入における三重県内訳（愛知県の男性）																
過去5年間の転入内訳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	
三重県から転入して在学	40	70	40	350	610	570	550	340	110	30	0	30	20	10	0	
三重県から転入して非在学	0	0	10	120	230	170	280	400	500	550	450	470	460	400	400	
三重県以外から転入して在学	1,530	1,820	1,510	2,990	4,580	5,300	4,380	3,500	1,270	910	380	400	300	200	160	
三重県以外から転入して非在学	130	170	280	1,760	3,610	4,750	5,670	7,330	9,680	11,180	12,720	14,350	14,060	14,050	14,660	

出典：平成22年国勢調査（オーダーメイド集計）

図表6 在学有無別の転出状況（愛知県の男性）

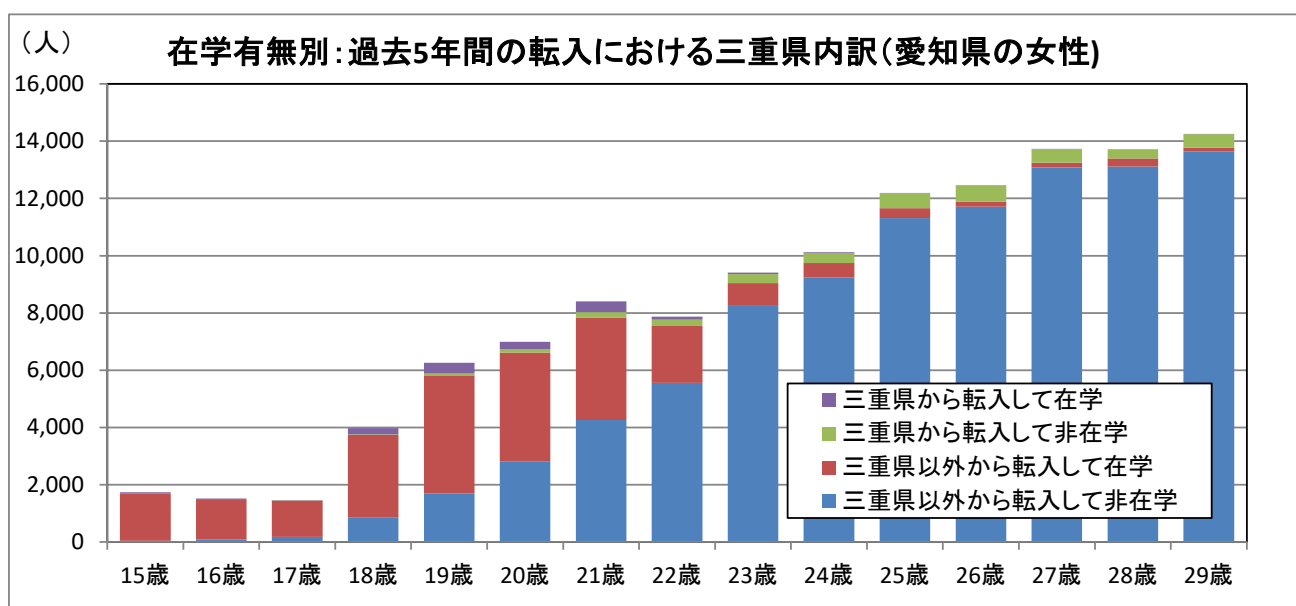
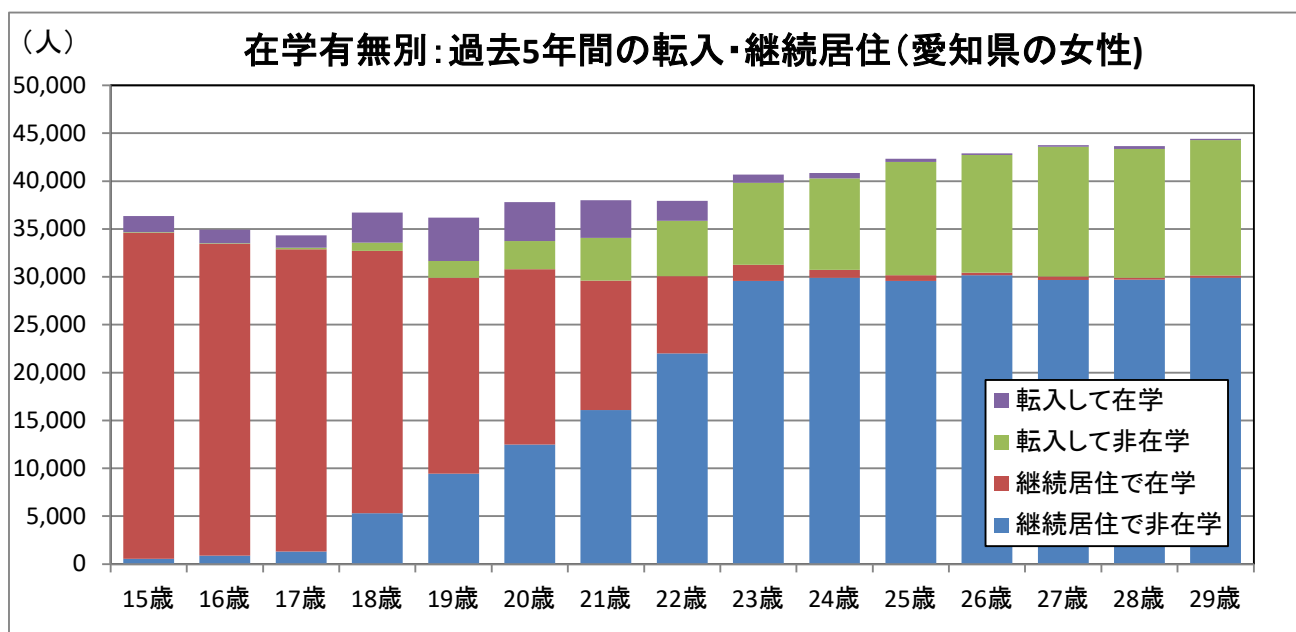


在学有無別：5年前の常住者に関する転出（愛知県の男性）																
過去5年間の転出・継続居住数	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	
過去5年で転出して現在在学	1,840	1,890	1,480	2,710	4,290	5,190	4,720	3,850	1,800	620	310	220	120	70	90	
過去5年で転出して現在非在学	100	160	230	720	1,410	1,580	2,090	3,280	6,000	8,250	9,650	10,230	11,610	11,250	13,060	
継続居住して現在在学	33,560	33,310	31,090	25,250	17,110	15,340	13,930	9,750	4,760	2,380	1,140	680	490	390	270	
継続居住して現在非在学	540	1,000	1,500	5,940	10,120	10,800	11,860	16,350	22,400	25,260	26,150	28,080	27,360	27,720	29,050	
5年前の常住者合計	36,040	36,360	34,300	34,620	32,930	32,910	32,600	33,230	34,960	36,510	37,250	39,210	39,580	39,430	42,470	

在学有無別：過去5年間の転出における三重県内訳（愛知県の男性）																
過去5年間の転出内訳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	
三重県へ転出し在学	90	80	60	70	190	120	140	190	70	0	0	0	0	20	10	
三重県へ転出し非在学	0	0	0	0	90	40	30	100	230	330	220	250	410	320	320	
三重県以外へ転出し在学	1,750	1,810	1,420	2,640	4,100	5,070	4,580	3,660	1,730	620	310	220	120	50	80	
三重県以外へ転出し非在学	100	160	230	720	1,320	1,540	2,060	3,180	5,770	7,920	9,430	9,980	11,200	10,930	12,740	

出典：平成22年国勢調査（オーダーメイド集計）

図表7 在学有無別の転入状況（愛知県の女性）

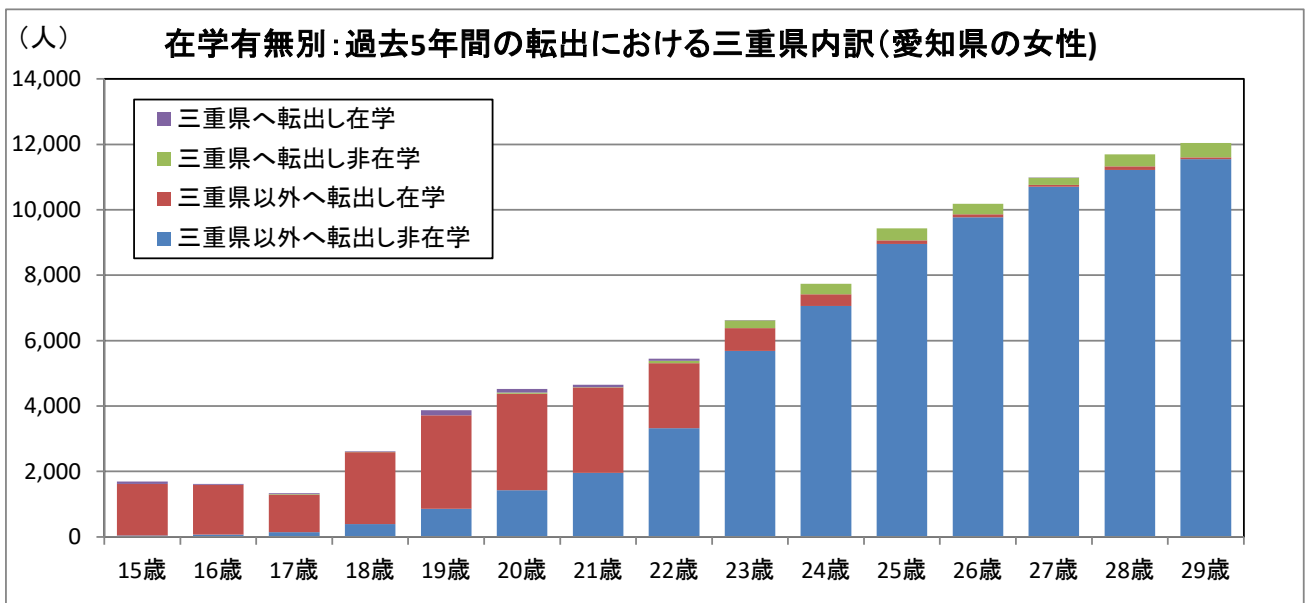
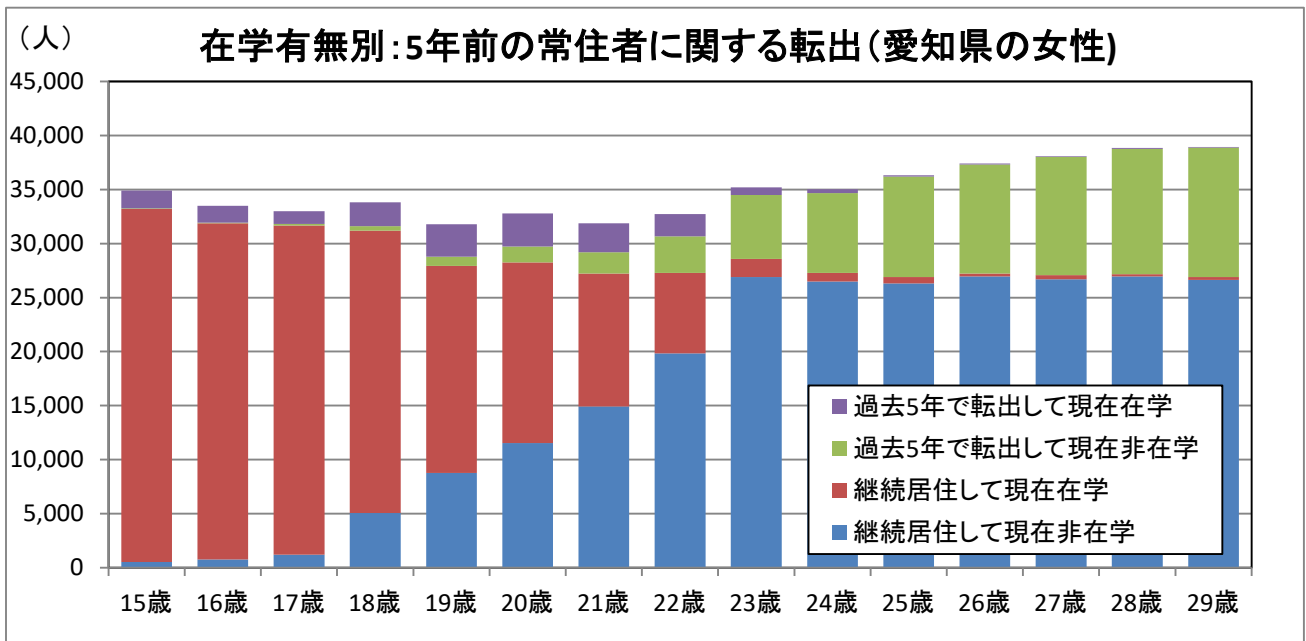


在学有無別：過去5年間の転入・継続居住（愛知県の女性）																
過去5年間の転入・継続居住数	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	
転入して在学	1,690	1,430	1,280	3,110	4,510	4,060	3,950	2,090	840	540	360	180	180	280	140	
転入して非在学	40	80	180	860	1,750	2,930	4,450	5,780	8,570	9,580	11,830	12,290	13,550	13,440	14,120	
継続居住で在学	34,040	32,530	31,570	27,410	20,480	18,320	13,520	8,060	1,700	810	580	280	380	210	250	
継続居住で非在学	570	900	1,300	5,320	9,440	12,490	16,090	22,000	29,560	29,910	29,580	30,160	29,660	29,710	29,900	
調査時点の常住者合計	36,340	34,940	34,330	36,700	36,180	37,800	38,010	37,930	40,670	40,840	42,350	42,910	43,770	43,640	44,410	

在学有無別：過去5年間の転入における三重県内訳（愛知県の女性）																
過去5年間の転入内訳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	
三重県から転入して在学	40	20	10	220	380	250	370	100	50	40	10	0	10	0	10	
三重県から転入して非在学	0	0	10	20	60	130	190	220	320	340	520	580	470	320	480	
三重県以外から転入して在学	1,650	1,410	1,270	2,890	4,130	3,810	3,580	1,990	790	500	350	180	170	280	130	
三重県以外から転入して非在学	40	80	170	840	1,690	2,800	4,260	5,560	8,250	9,240	11,310	11,710	13,080	13,120	13,640	

出典：平成22年国勢調査（オーダーメイド集計）

図表8 在学有無別の転出状況（愛知県の女性）



在学有無別：5年前の常住者に関する転出（愛知県の女性）																
過去5年間の転出・継続居住数	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	
過去5年で転出して現在在学	1,650	1,550	1,170	2,220	3,010	3,060	2,680	2,060	700	360	110	90	60	110	50	
過去5年で転出して現在非在学	40	70	160	400	860	1,460	1,970	3,390	5,930	7,380	9,320	10,090	10,930	11,590	11,990	
継続居住して現在在学	32,700	31,100	30,480	26,160	19,160	16,720	12,330	7,450	1,670	800	590	280	380	210	260	
継続居住して現在非在学	510	770	1,190	5,050	8,760	11,540	14,910	19,830	26,910	26,500	26,310	26,950	26,710	26,960	26,640	
5年前の常住者合計	34,900	33,490	33,000	33,830	31,790	32,780	31,890	32,730	35,210	35,040	36,330	37,410	38,080	38,870	38,940	

在学有無別：過去5年間の転出における三重県内訳（愛知県の女性）																
過去5年間の転出内訳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	
三重県へ転出し在学	70	30	20	20	150	110	70	70	10	0	0	0	10	0	0	
三重県へ転出し非在学	0	0	20	10	0	30	10	70	240	320	360	320	220	370	440	
三重県以外へ転出し在学	1,580	1,520	1,150	2,200	2,860	2,950	2,610	1,990	690	360	110	90	50	110	50	
三重県以外へ転出し非在学	40	70	140	390	860	1,430	1,960	3,320	5,690	7,060	8,960	9,770	10,710	11,220	11,550	

出典：平成22年国勢調査（オーダーメイド集計）

また、図表7と図表8では男性と同じ形式で女性の転入・転出を示している。図表7によれば、2010年10月に愛知県在住の19歳女性のうち過去5年で三重県から転入した在学者は380人、非在学者を含めた全体では440人となっている。この数値は図表5に示した男性の610人に、840人に比べれば3分の2以下であり、20歳前後の三重県から愛知県への転出状況は男女で大きく異なることが分かる。

さらに図表8より、23歳女性における三重県への転出者を見ると、転出した在学者が10人、転出した非在学者が240人であり、合計250人となっている。これは、図表7に示した三重県からの19歳女性の転入在学者380人の66%、19歳女性の転入者全体440人の57%となっている。さらには、着目する年齢を25歳とした場合、愛知県から三重県への女性転出者は360人であり、19歳女性の転入者全体440人の82%に相当する。大学進学等で三重県から愛知県に転出した女性は半数以上が23歳時点・25歳時点で三重県に戻ってきている可能性が考えられる。

以上のように、三重県と愛知県の関係のみに着目しても、進学等によって20歳前後で転出する傾向、卒業後に三重県に戻る傾向が男女で大きく異なっている。女性は男性に比べて20歳代前後で愛知県に転出する傾向が弱いことに加えて、卒業後に三重県に戻ってくる傾向が強いことが推察される。

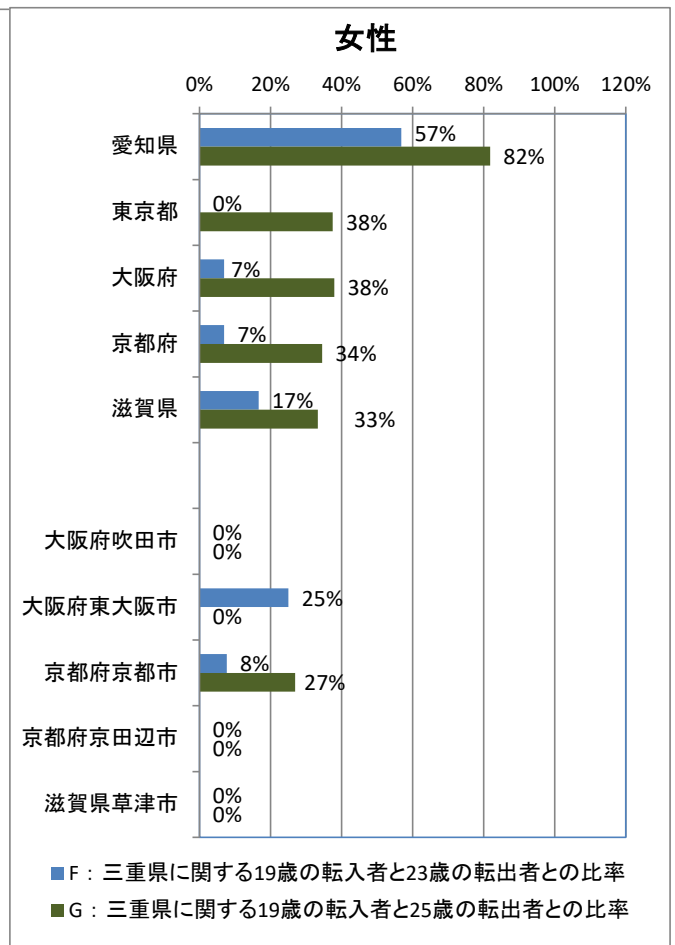
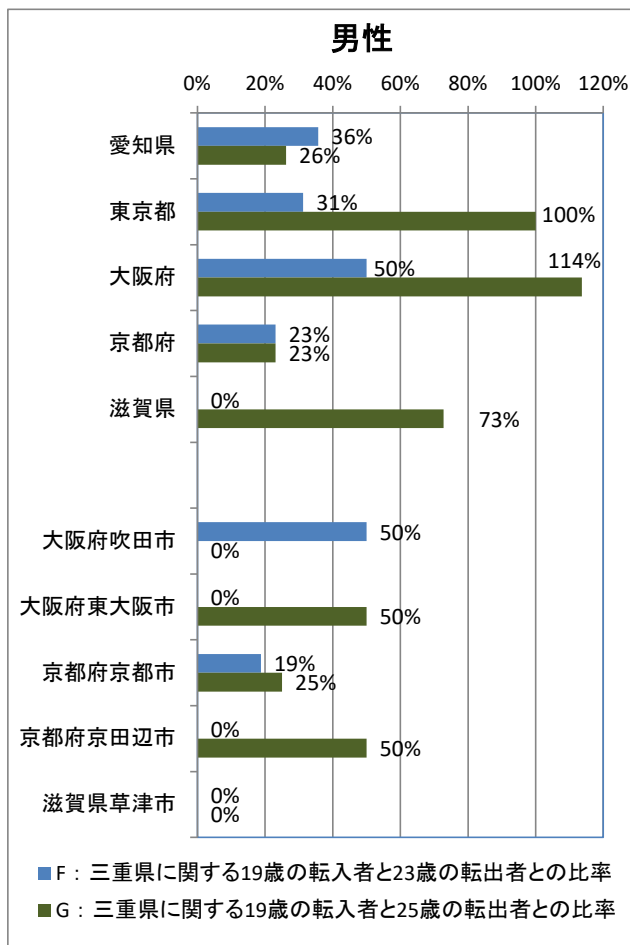
続く図表9においては、前述した愛知県との転出入と同様の手順で三重県からの転出した19歳と三重県へ転入した23歳および25歳の比率をオーダーメイド集計で取得した5都府県・5市で比較している。図表9では上部の表の右側2列に示した19歳の三重県からの転入者と23歳および25歳の三重県への転出者の比率を下側のグラフに表している。

まず、19歳における在学・非在学の比率に着目すれば、図表5～図表8で示した愛知県は、三重県からの転出者に占める非在学者が男性で27%、女性で14%と他のエリアに比べて高いことが分かる。男性19歳では東京都・大阪府・京都府への転出において、非在学者の割合は2割を切っており、滋賀県に至っては10人単位の四捨五入の関係で0になっている。19歳の東京都・京都府への転出は、概ね進学のために転出していると考えられる。また、進学先の市に着目すると、草津市へは男性が90名進学しているのに対し女性は20名であるが、京都市には男性140名に対して女性が260名と、性別によって進学先の傾向が異なっている。

卒業後の三重県への転入を考察するべく、図表9の「F：三重県への23歳の転出者との比率」に着目すると、男性の大阪府が50%と比較的割合が高く、卒業後に三重県に戻る傾向が示唆している。一方で、女性に関して東京都・大阪府・京都府の値を見ると、いずれも10%未満となっており、これらの都府県への転出は、愛知県への転出と異なって、卒業後に三重県に戻らない傾向を示唆している。

図表9 三重県からの転出した19歳と三重県へ転入した23歳・25歳の比率

		19歳の 三重県からの 転入在学者 [A]	19歳の 三重県からの 転入非在学者 [B]	19歳の 三重県からの 転入者合計 [C=A+B]	三重県への 23歳の転出者 [D]	三重県への 25歳の転出者 [E]	三重県に関する 19歳の転入者と 23歳の転出者との 比率 [F=D/C]	三重県に関する 19歳の転入者と 25歳の転出者 との比率 [G=E/C]	
男性	都府県	愛知県	610	230	840	300	220	36%	26%
	東京都	140	20	160	50	160	31%	100%	
	大阪府	180	40	220	110	250	50%	114%	
	京都府	230	30	260	60	60	23%	23%	
	滋賀県	110	0	110	0	80	0%	73%	
	市	大阪府吹田市	40	0	40	20	0	50%	0%
		大阪府東大阪市	20	0	20	0	10	0%	50%
		京都府京都市	140	20	160	30	40	19%	25%
		京都府京田辺市	20	0	20	0	10	0%	50%
		滋賀県草津市	90	0	90	0	0	0%	0%
女性	都府県	愛知県	380	60	440	250	360	57%	82%
	東京都	80	0	80	0	30	0%	38%	
	大阪府	290	0	290	20	110	7%	38%	
	京都府	280	10	290	20	100	7%	34%	
	滋賀県	60	0	60	10	20	17%	33%	
	市	大阪府吹田市	30	0	30	0	0	0%	0%
		大阪府東大阪市	40	0	40	10	0	25%	0%
		京都府京都市	260	0	260	20	70	8%	27%
		京都府京田辺市	30	0	30	0	0	0%	0%
		滋賀県草津市	20	0	20	0	0	0%	0%



出典：平成22年国勢調査（オーダーメイド集計）

さらに「G：三重県への25歳の転出者との比率」を見ると、男性では東京都で100%、大阪府で114%となっている。一方で女性に着目すると、東京都・大阪府ともに38%となっており、男性に比べて比率が低くなっている。男性において、三重県への転入者数が相対的に多く、Gの比率が100%以上となる背景として、三重県出身者以外の三重県転入者が多く含まれていると考えられる。Gの比率に大幅な男女差が生まれる要因としては、転勤等によって、東京都や大阪府から三重県の支社や工場の配属となる傾向が男女で異なることが考えられる。

本稿ではオーダーメイド集計を活用することによって、若年層の三重県からの転出率と三重県への転入率の比率が地域・性別によって大きく異なっていること示した。しかし、オーダーメイド集計を活用しても国勢調査のデータのみでは、相異の要因を把握することは困難である。データに示された相異の要因を大学や企業へのヒアリング等によって把握することで、Uターン就職を促す取り組みを効果的に行う必要性が示唆される。